



(写真) Armando Benedetti 氏 Twitter “スキャンダル関与疑惑で Benedetti 在ベネ・コロンビア代表大使辞任”

2023年6月2日(金曜)

政治

- 「[在ベネズエラ・コロンビア大使が辞任表明](#)
～ペトロ政権中枢のスキャンダルに関与?～」
- 「[グアイド元議長 米国での生活費について回答](#)」

経済

- 「[23年Q1 保険料収入は17.35%増](#)」
- 「[ロイター 5月原油輸出は日量60.6万バレル](#)」
- 「[西イベリア航空増便、Latam リマ便を再開](#)」

社会

- 「[2023年 ベネズエラ異常気象を警戒](#)」
- 「[南米でアルバイトを謳った詐欺が増加](#)」

23年6月3～4日(土・日)

政治

- 「[予備選挙運営委 CNE に技術支援を求める](#)
～急進野党 具体的な支援内容の説明要請～」
- 「[カプリレス元知事 遊説中に襲撃受ける](#)」
- 「[マドゥロ大統領 トルコ・サウジを遊説](#)」

経済

- 「[OPEC+ 24年まで協調減産を延長](#)」
- 「[PDVSA Petrovietnam と産油活動で合意](#)」
- 「[コロンビア国境 公共交通機関の移動不可](#)」

社会

- 「[墨収容施設での放火事件 ベネズエラ人逮捕](#)」

2023年6月2日（金曜）

政治

「在ベネズエラ・コロンビア大使が辞任表明
～ペトロ政権中枢のスキャンダルに関与?～」

6月2日 在ベネズエラ・コロンビア大使を務めていた Armando Benedetti 大使（下写真右の男性）が辞任を表明した。

Benedetti 大使が辞任した理由は、ペトロ政権内で起きたスキャンダルに関与した疑いがあるため。突然の辞任発表はベネズエラ国内で驚きをもって報じられている。

このスキャンダルのキャストは以下の写真の人物。



(写真) Semana、コロンビア大統領府、@AABenedetti



(写真) Semana

このスキャンダルの中心にいるのは、ペトロ政権の大統領府トップである Laura Sarabia 氏（左上写真の女性）また、Laura Sarabia 氏の子供の子守役を務めていた Marelbys Meza 氏（左写真下の女性）。

問題は、Laura Sarabia 氏の自宅で7000ドル相当の現金が入ったスーツケースが何者かに盗まれたことから始まる。

Sarabia 氏は、子守役の Meza 氏が盗みを働いたと考え、職権を乱用し、警察を動かして捜査を実施。彼女や彼女の家族の所持品を警察に調べさせ、うそ発見器による尋問を行った。加えて、Meza 氏がマフィア(Clan de Golfo)の関係者であるとの嫌疑をでっち上げて、警察に Meza 氏の通信傍受をさせるなどをしていたという。

そして、Sarabia 氏の職権乱用に Benedetti 大使も何らかの形で関与していた可能性が浮上している。

元々 Sarabia 氏は Benedetti 大使の部下だったため、両名は良好な関係にあった。加えて、Meza 氏は Benedetti 大使の子供の子守役もしていたため、Meza 氏と Benedetti 大使も面識があった。

コロンビアメディア「W Radio」によると、Benedetti 大使は大使職を離れ、防衛相になることを望んでいたがペトロ大統領（左上写真中央の男性）に拒絶されていたという。

この状況を受けて、Sarabia 氏は Benedetti 大使に対して、外相あるいは内務相のポストを与えることを条件に Meza 氏の捜査に協力するよう持ちかけ、Benedetti 大使がそれに応じたような形跡があるという。

コロンビア検察庁は Sarabia 氏と Benedetti 大使に事情聴取を行うとしており、捜査に着手することを明らかにした。

この状況を受けて、「不信感がある状態で公職を遂行することはできない」として、Benedetti 大使は辞任を表明した。

「グアイド元議長 米国での生活費について回答」

グアイド議長は「NTN 24」のインタビュー番組に出演。

同インタビューで現在のグアイド氏と彼の家族の米国での生活費について質問を受けると

「私はエンジニアで大学院過程を2度終了している。また、議員に2度なり、国会議長、暫定大統領にもなった。」と回答。外国政府から資金援助を受けている可能性を否定した。

また、「新たな仕事のオファーを受けている」と補足。「近いうちに明らかにする」とした。

経 済**「23年Q1 保険料収入は17.35%増」**

2023年第1四半期の保険業界の保険料収入は前年同期比17.35%増だったという。

大きく増加したものの2022年第1四半期は前年同期比38.58%増、21年第1四半期は同32.87%増だったことを踏まえると、過去2年と比べて保険料収入の伸びは鈍化したという。

また、「ベネズエラ保健商工会」の Carmen Bouffard 代表によると、保険業界は過去10年間で70%も縮小したため、過去のレベルには全く追いついていないという。

なお、2021年、22年の保険料収入が好調だった要因について、Covid-19の感染拡大を受けて、医療保険の加入者が増加したためと説明した。

また、Covid-19に関して、2022年12月までに保険業者8万超が合計で2億ドル相当の Covid-19に関連する支払いを行ったという。

他、現在のベネズエラの保険料収入の内訳について、70%は「医療保険」で、5%は「自動車保険」、残りはその他保険だという。

Bouffard 代表によると、ベネズエラ国内で何らかの保険に加入しているのは全体の5%だという。その他の95%は食費・医薬品購入のために収入を使用しており、保険に入る資金的な余力はないとした。

「ロイター 5月原油輸出は日量60.6万バレル」

ロイター通信は、23年5月のベネズエラの原油・石油製品輸出量について、先月比14%減の日量60万6,258バレルだったと報じた。

この数値は直近2カ月（23年3月、4月）の原油輸出量よりも少ないが、PDVSA が原油取引先の契約見直しを開始した23年1月、2月よりも多いという。

輸出減少の主な要因は、原油の改質を行うためのアップグレーダーの稼働に問題が生じたため、輸出できる品質の原油が作れなかったためとしている。

なお、PDVSA とその他関係会社は、それぞれ合計で20.9万立法トンのメタノール、尿素、石油コークスなどを輸出したという。

「西イベリア航空増便、Latam リマ便を再開」

Covid-19問題の鎮静化、ベネズエラの外交関係正常化、ベネズエラ経済のゆるやかな安定などの要因からベネズエラの外国路線は増加傾向にある。

スペインの航空会社「イベリア航空」は、9月からベネズエラースペイン間の路線を増便するという。

現在、イベリア航空のベネズエラ(カラカス)ースペイン(マドリッド)間の運行頻度は週3便だが、9月から週5便(月曜・火曜・木曜・金曜・日曜)になるという。

また、2023年8月から「Latam Airline」がペルー(リマ)ーベネズエラ(カラカス)間の運航を再開する。頻度は週1便を予定している。

Latamはベネズエラの経済状況悪化を受けて、2016年から運航を停止していた。運賃は時期によるが、エコノミークラスは338ドルから。プレミアムクラスは453ドルからだという。



info SA

@flightstats24H · Seguir



01JUL vuelve Latam a Venezuela en la ruta Lima - Caracas.

Serán operados en A320 1x dia.



(写真) @flightstats

社 会

「23年 ベネズエラ異常気象を警戒」

レミヒオ・セバジヨス内務相(市民安全・平和担当副大統領)は、6月からハリケーンの時期に入ると説明。市民に警戒を呼び掛けた。

セバジヨス内務相によると、今後最大で9つのハリケーンがベネズエラを通過することが予想されており、うち4つのハリケーンは勢力がかなり強いという。

また、マドゥロ大統領は「今年は歴史的に見て最も熱い年になる」と言及。「異常気象により農業が致命的な被害を受けている」と述べた。

「南米でアルバイトを謳った詐欺が増加」

ベネズエラに限らず、南米全体でアルバイトを謳いお金をだまし取る詐欺が拡大しているという。

Amazon、Mercado Libre、Shopify、Linio、Lazadaなどベネズエラで知名度の高い企業を名乗り、仕事を求める人々を携帯アプリ「WhatsApp」「Telegram」などに誘導。

実際に詐欺被害を受けた人によると、Facebookに「特段の特殊な経験がなくても1日15分～20分で毎月80ドルの収入を得るチャンスがある。」とのオファーを受け取ったという。

詳細情報を確認するため、詳細ボタンをクリックすると「WhatsApp」のチャットに誘導され、チャットで詳細の説明を求めると、「Amazonの関連の仕事で、掲載商品の評価を上げるためのもの」との回答があったという。

「評価を上げるために商品の購入ボタンを押し、商品評価を上げる」「ただし、購入代金は返金され、+20%の手数料も得ることが出来る」という仕組みのようで、この仕事を始めるために自身の個人情報を登録。

その後、評価を上げる対象となる商品が案内されるという。被害者は指示通り指定の商品を購入するが、もちろん商品は届かず、手数料も入ってこないという詐欺のようだ。

なお、詐欺だと気づくまでに多くの商品を購入させられるので、最終的に詐欺被害額はかなり大きなものになるという。

2023年6月3日～4日（土曜・日曜）

政治

「予備選挙運営委 CNE に技術支援を求める
～急進野党 具体的な支援内容の説明要請～」

6月2日 予備選挙運営委員会は「選挙管理委員会（CNE）」に対して、予備選挙の実施に当たり技術支援を要請すると発表した（右写真がオリジナル声明文）。

過去、予備選挙運営委員会は CNE に対して技術支援を要請しており、両組織による検討委員会が発足していた。

しかし、CNE が求める指紋認証の導入を巡り、両者の意見がかみ合わず、最終的に CNE は予備選挙の支援を拒絶していた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.898](#)」）。

その後、予備選委は CNE の協力を得ることなく選挙を実施する手段を検討したが、CNE の協力無く選挙を実施することは出来ないとの意見が主要野党（特に第一正義党）から出たことで、今回の要請に至ったと思われる。

ただし、予備選挙運営委員会は、現在も指紋認証の導入に否定的であり、両者の話し合いが合意に至るかは不明である。

また、CNE が選挙に関与することを強く否定する急進野党のグループは予備選挙運営委員会の発表をネガティブに捉えており、「Vente Venezuela」の選挙対策チームは具体的にどのような技術支援を CNE に求めるつもりなのかを説明するよう求めている。



COMUNICADO

CNPrimaria sobre solicitud de asistencia técnica al CNE

Caracas.- La **Comisión Nacional de Primaria** informa que, en sesión sostenida el día de hoy, aprobó solicitar al Consejo Nacional Electoral una reunión de la Comisión Técnica Conjunta a los fines de ratificar y formalizar lo tratado hasta ahora en el marco de dicha Comisión conjunta, en relación con diversos aspectos y garantías de la Primaria, incluyendo lo relativo a la protección de la identidad de los votantes.

De confirmarse estas especificaciones, se solicitará la asistencia técnica para la organización de la Primaria el 22 de octubre de 2023.

Comisión Nacional de Primaria
Caracas, 2 de junio de 2023

（写真）予備選挙運営委員会

「カプリレス元知事 遊説中に襲撃を受ける」

6月3日 「第一正義党（PJ）」の推薦候補として予備選挙に出馬する予定のエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事がカラボボ州を遊説中に女性グループから襲撃を受ける事件が発生した。

カプリレス元知事は、本件について「マドゥロとラカバ（カラボボ州知事）の命令で再び暴力グループがサボタージュをしてきた」と訴え、マドゥロ政権による刺客であると指摘した。

また「私は引き続き地域を回る」と主張。今後も選挙キャンペーンを継続する意思を示した。



(写真) @hcapriles

「マドゥロ大統領 トルコ・サウジを遊説」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.914](#)」にて、マドゥロ大統領が南米首脳会議に出席するためブラジルを訪問したとの記事を紹介したが、次はトルコ、サウジアラビアを訪問した。

トルコへの訪問は、先日大統領選で再選を決めたエルドアン大統領の就任式に出席するため。同式典でエルドアン大統領とマドゥロ大統領は両国の関係強化について改めて約束を交わした。



その後、6月4日にマドゥロ大統領はサウジアラビアに移動。5日から同国閣僚らと会合を行う予定のようだ。



(写真) 大統領府

経 済

「OPEC+ 2024年末まで協調減産を延長」

日本でもニュースになっているが、「石油輸出国機構（OPEC）」およびロシアなど OPEC 非加盟産油国で構成する「OPEC+」は、協調減産を2024年末まで延長することを決定した。

加えて、24年の生産目標を現在の予定より日量約140万バレル減らし、合計で日量4046万バレルにすることも決めたという。

また、OPEC 最大の産油国であるサウジアラビアは、7月の産油量を日量100万バレル減らすという。現時点では一時的な措置としているが、今後の状況によってはこの減産措置を延長する可能性もあるようだ。

現在、世界的な景気減速懸念が高まっており、原油価格が上がりにくい状況が続いている。

ブレント原油先物は1バレル76ドル台となっており、4月の1バレル85ドル台から減少している。

「PDVSA Petrovietnam と産油活動で合意」

PDVSA は、CVP (PDVSA が合弁会社を作る際に使用する会社) と Petrovietnam の代表が産油に関する合意を交わしたと発表した。ただし、具体的な合意内容は明らかにされていない。

また、Petromacareo の事業計画について協議を行ったという。

5月に PDVSA の Tellecha 総裁は在ベネズエラ・ベトナム大使の Vu Trung My 氏と会合を行っており、両国のエネルギー事業での関係強化が確認されている。



(写真) PDVSA

「コロンビア国境 公共交通機関の移動不可」

現在、コロンビアとベネズエラの国境は外交関係の回復を受けて、自動車での越境も再開している。しかし、技術的な理由で完全な開放に至っていないようだ。

問題は、バスなど公共交通機関による越境。法律上、ククタを通過するためにバスは保険を掛けている必要があるという。

しかし、現在コロンビアにもベネズエラにもククタが求めるような保険サービスが存在しないという。つまり、この保険を掛ける手段が存在しないため、バスでのコロンビア越境が出来なくなっているようだ。

5月23日 タチラ州交通商工会の Freddy Solano 副代表は、ククタ市に対して現状を説明し、法律の見直しを求めたという。

社 会**「墨収容施設での放火事件 ベネズエラ人逮捕」**

3月27日 メキシコ北部チワワ州の都市シウダド・ファレスにある移民収容施設にて火災が発生し、40名の移民が死亡する事件が起きた ([「ベネズエラ・トゥデイ No.889」](#))。

この事件は、収容所の警備員が刑務所を開けなかったため大規模な被害が出た事件として「移民に対する非人道的な対応」として世界的に注目が集まった。

この事件について、放火の主犯とされるベネズエラ人カルロス・ロドリゲス氏が逮捕されたと報じられた。

ロドリゲス氏の他、この事件に関連して、収容所の見張りをしていた移民管理局の職員3名、監視員1名、騒動で殺人を行ったとされる別のベネズエラ人1名が逮捕されている。

以上